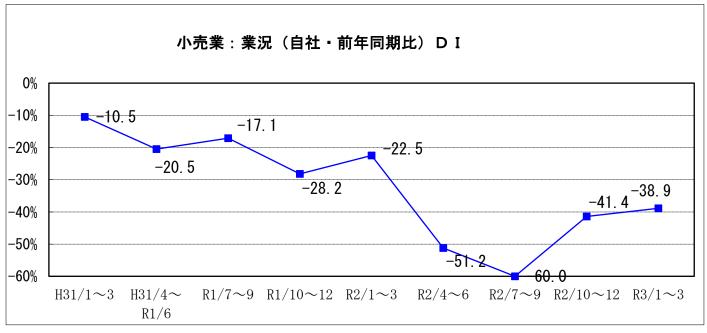
4. 小売業の動向

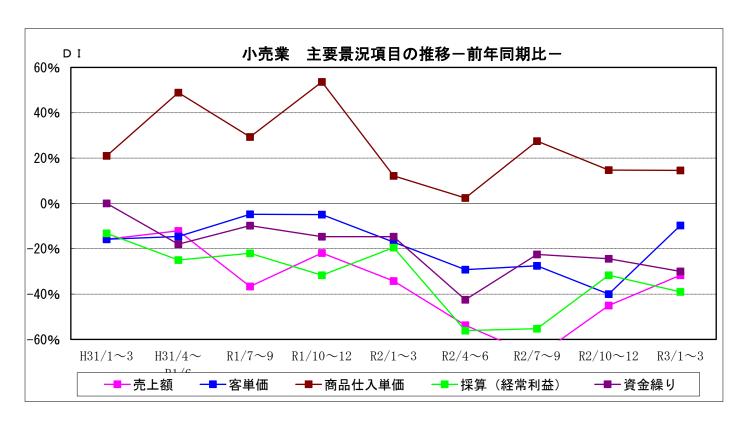
(1) 業況概要(前年同期比)

今期の業況D I 値は \triangle 38.9。前期の \triangle 41.4 から 2.5 ポイントの上昇となった。 来期の見通しは、 \triangle 31.7 とやや上昇する見込みである。



小売業の主要景況項目 DI 値の推移(前年同期比・%)

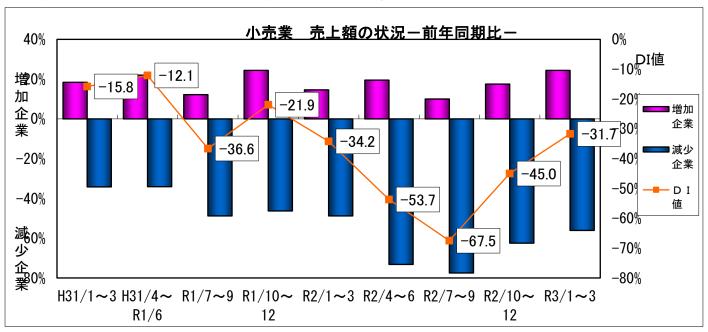
	前々期	前 期(A)	今 期(B)	今期と前期の差	来期
	(R2年7月~9月)	(R2年10月~12月)	(R3年1月~3月)	(B) - (A)	見通し
売上額	▲ 67.5	▲ 45.0	▲ 31.7	13.3	▲ 29.2
客単価	▲27.5	▲ 40.0	▲ 9.7	30.3	▲ 9.8
商品仕入単価	27.5	14.7	14.6	▲ 0.1	17.1
採算(経常利益)	▲ 55.3	▲ 31.7	▲ 39.0	▲ 7.3	▲31.7
資金繰り	▲ 22.5	▲24.4	▲30.0	▲ 5.6	▲ 22.5



(2) 主要項目の概況(前年同期比)

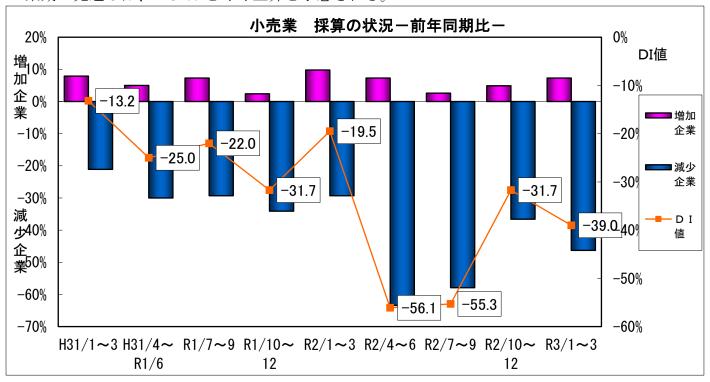
①売上額(前年同期比)

今期の売上額D I 値は $\triangle 31.7$ 。前期の $\triangle 45.0$ から 13.3 ポイント上昇した。 来期の見通しは $\triangle 29.2$ とさらに上昇が予想される。



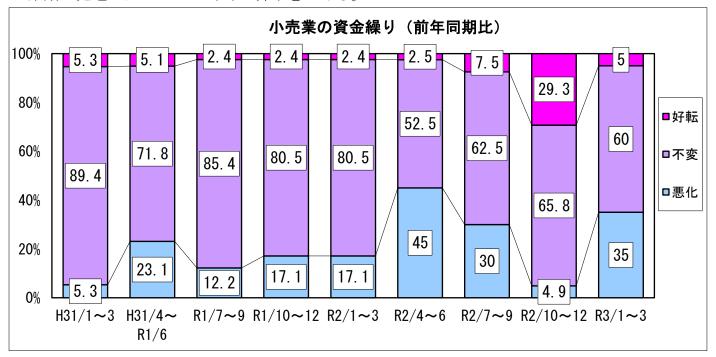
②採算(前年同期比)

今期の採算D I 値は、 $\blacktriangle 39.0$ 。前期の $\blacktriangle 31.7$ から 7.3 ポイント低下した。来期の見通しは、 $\blacktriangle 31.7$ とやや上昇と予想される。



③資金繰り(前年同期比)

今期の資金繰りDI値は $\Delta 30.0$ 。前期の $\Delta 24.4$ から5.6ポイントとやや低下した。来期の見通しは $\Delta 22.5$ とやや上昇予想である。

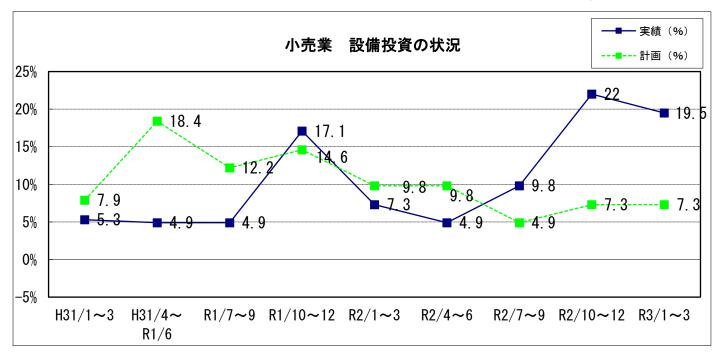


④設備投資

新規設備投資の状況

//LIK /m 1X K *> 1/\/\tag{1}												
				投	資	内	容					
	あり	土地	店舗	販売	車両・	付帯	OA	福利厚	その他	なし		
		Į.	/口 中間	設備	運搬具	施設	機器	生施設				
前期実施(実数)	9	0	0	2	2	2	3	0	3	32		
(%)	22.0	0.0	0.0	22.2	22.2	22.2	33.3	0.0	33.3	78.0		
今期実施 (実数)	8	0	0	3	1	1	3	1	2	33		
(%)	19.5	0.0	0.0	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	25.0	80.5		
来期計画 (実数)	3	0	1	1	0	2	0	0	0	38		
(%)	7.3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	92.7		

今期設備投資を実施した企業は8社(19.5%)。前期(令和2年10月~12月期)の実施企業9社(22.0%)から1社減となった。来期は3社(7.3%)が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

「需要の停滞」

(前期 65.8%→今期 55.3%)

・「消費者ニーズの変化」

(前期 42.1%→今期 36.8%)

・「購買力の他地域への流出」

(前期 34.2%→今期 28.9%)

となっている。

